

4 . 快適な交通環境づくり

基本的な考え方

本市は、都心への近接性や歴史的背景から、街道沿いに都市化が進み、鉄道が発達し駅を中心に市街地が発展してきました。その結果、中心市街地周辺に交通が集中し、慢性的な渋滞と安全性の低下が生じています。

また、これにより、住宅地内への車の進入やバス交通の定時制の低下等、様々な課題が生じています。

特に、多くの市民が集まる拠点周辺の整備と地域や拠点を結び都市活動や市民生活に密着する骨格となる道路の整備が重要となっています。

このことから、公共交通機関や都市計画道路の整備状況と土地利用状況を踏まえて、安全性・利便性・防災性、また環境面等の観点に立ち、効率的で円滑な道路網の形成を図り、安全で快適な、人にやさしく市民生活や交流を支え育む道づくりを進めます。

また、自動車利用や自動車流入の抑制、環境にやさしい自動車の導入など、環境への負荷を軽減する交通環境づくりを目指します。

交通拠点における機能の向上

1] 利用しやすさと快適性の確保

- ・ 交通機関の乗り継ぎやすさを確保するなど、交通結節点としての利便性を高めるために、各駅の機能に応じた駅前広場やアクセスする道路の整備・改善とともに駐車・駐輪場の整備を進めます。
- ・ 公共交通機関の発着情報や目的地までの交通手段、また、地域の資源やイベントの案内等、総合的な情報提供システムの整備を進めます。
- ・ 快適な空間を形成するために、景観に配慮した駅前広場や回遊性を高めるシンボルロード等の整備を進めます。
- ・ 安全で快適な移動空間を確保するために、ユニバーサルデザインの導入を図ります。
- ・ なお、市境に位置する鉄道駅においては、近接市と連携して利用しやすい交通環境づくりに努めます。



行徳駅前の広場

2] 公共交通機能の充実

- ・バスの利用促進を図るために、路線網の充実や運行数の増加を働きかけるとともに、運行の定時性確保に向けて、バスベ이의整備等に努めます。
- ・拠点と地域の連絡性を高めるために、誰もが利用できるコミュニティバスの導入を図ります。
- ・交通不便地域の解消とともに鉄道ネットワークを形成する東京10号線の延伸を促進します。

地域や拠点を結び、市民生活や交流を支える交通体系の形成

1] 骨格となる道路と地域をつなぐ道路の整備

- ・市域や地域間を連絡し、また交流機能を高めるために、市域を南北・東西につなぎ、道路ネットワークの骨格となる外かん道路や国道14号、(都)3・4・18号(浦安鎌ヶ谷線)またこれらの道路を補完する都市計画道路、及び江戸川架橋等の整備を進めます。
- ・湾岸道路は、市域南部を東西に結ぶとともに臨海部の産業を支える道路として、機能の改善や周辺に対する緩衝機能の強化を図ります。



外かん道路(完成予想図)

2] 円滑な交通を担う道路網整備

- ・市域内の円滑な交通と住宅地内への通過交通の排除など市民生活の安全性を担うために、市街地整備や道路整備の状況を踏まえて都市計画道路や国道・県道・市道の役割に応じた道路整備を進め、道路網の形成を図ります。
- ・市内の渋滞解消と歩行者の安全性を確保するために、京成本線と主な道路の立体交差を推進するとともに、右折レーンの設置などによる交差点の改良を進めます。

3] 広域的な連絡機能の強化

- ・市北部を東西につなぐ北千葉道路や臨海部をつなぐ第二湾岸道路の整備を促進します。

人や環境に配慮した交通環境の形成

1] 安全な歩行者空間の確保

- ・市民生活や市民の交流を支えるために、都市空間軸の整備と併せて、安全で快適な歩行者空間の確保を図ります。
- ・高齢者や障害者を含む誰もが安全に移動できる歩行者道や自転車道、横断歩道橋等の整備を進めるとともに、コミュニティ道路づくりを推進します。
- ・住宅地内の生活道路では、安全施設の整備と併せて歩車共存の空間整備を進めます。
- ・歩行者と自転車の相互の安全性を確保するために、自転車利用時の交通ルールの遵守や放置規制の徹底等を図ります。



葛飾八幡宮の参道

2] 環境にやさしい交通対策の推進

- ・行政や公共交通機関を中心に、環境にやさしい自動車等の導入を進めます。
- ・渋滞による環境への影響を軽減するために、駐車場の利用状況や道路の混雑状況等の情報を提供するシステムづくりを行います。
- ・自動車利用の抑制を図るために、1台の自動車を共同で利用するカーシェアリングシステム等の導入を図ります。
- ・自転車利用を促進するために、主なバス停留所付近や駅周辺の駐輪場整備を進め、また、レンタサイクルシステムを充実し、活用を促します。

『快適な交通環境づくり』に関する方針図



主な交通環境の方針

- 交通拠点における交通環境の改善
(交通結節点の機能向上、ユニバーサルデザインを導入した
安全で快適な移動空間づくりなど)
- 近隣市との連携による交通環境の向上
- 鉄道駅の交通環境の向上
- 市域を東西・南北に連絡し骨格となる道路の整備
- 骨格となる道路を補完し、地域をつなぐ道路の整備
- 江戸川による分断を解消する架橋の整備
- 京成本線と道路の立体交差化
- 緊急船着き場の整備
- 円滑な交通を実現する道路網の形成
- 自動車専用道路
- 都市幹線道路(国道、県道、一般市道、都市計画道路)
- 地域幹線道路(二級市道等)